

女性技術者の登用を促すためのモデル工事

対象工事

○競争参加資格の要件

・主任技術者、監理技術者、現場代理人、担当技術者、専任補助者のいずれかに、女性技術者を配置
※担当技術者として配置の場合は、担当する分野に係る期間の過半に配置。

<第1弾>

工事名：東根地区上部工工事
業者名：株式会社 東京鐵骨橋梁
工事場所：山形県東根市
工期：H26.7.23～H27.1.16
女性技術者：担当技術者

<第2弾>

工事名：上北地区橋梁上部工工事
業者名：瀧上工業株式会社
工事場所：青森県上北郡東北町
工期：H26.9.30～H27.6.12
女性技術者：現場代理人

<第3弾>

工事名：小猿部川橋上部工工事
業者名：川田工業(株)
工事場所：秋田県北秋田市
工期：H27.2.17～H28.1.25
女性技術者：担当技術者

①競争参加者数の確保

競争参加者数の確保が重要なポイント

競争参加者数の確保する工夫として、東北管内で競争参加者数が多い「鋼橋上部工事」での試行とした。人気職種であり、各社受注意欲が高いため、女性技術者登用促進に有効に働くと考えた。

②公告までの事前調整

建設業団体と意見交換を実施

事前に建設業団体と意見交換を実施し、東北管内での女性技術者の配置状況や勤務状況を確認した。その結果、「主任(監理)技術者」の配置のみを参加条件とした場合、参加可能な業者は僅かとなり、競争性の確保が困難ということがわかった。

幅広く周知するため業界紙へ情報提供

建設業団体へ加入していない企業へも周知を図るため、業界紙へ情報提供を積極的に実施。広報効果を高めるため、工事公告と同タイミングの記事となるよう、事前にきめ細かく記者レクを行った。その結果、業界紙4紙や日刊コンストラクション等、幅広く掲載され、周知を図ることができた。

③入札に参加しやすくするために

女性技術者の配置対象を幅広く設定

建設業団体に確認した結果、「主任(監理)技術者」として実績を踏んだ女性技術者が少ない現状である。主任(監理)技術者としての配置を参加条件にした場合、若手など工事実績や経験の少ない女性技術者の登用促進につながらないと判断し、配置条件を担当技術者まで拡大した。

女性技術者の配置期間を緩和

女性技術者の勤務形態を建設業団体にヒアリングした結果、工期の全てに携わることは難しい状況と判断し、配置条件を担当技術者の場合「担当する分野に係る期間の過半」と設定。

施工実績等の評価対象期間の緩和

産休・育休後の女性技術者が活躍しやすい環境となるように、工事の施工経験及び表彰等の評価対象期間について、産休育休期間に相当する期間を評価対象期間に加えることができたこととした。

働きやすい現場環境に考慮

女性技術者が働きやすい現場環境を整備するため、女性技術者が現場で働くために必要な施設や設備(更衣室やトイレ等)については、別途協議できるようにした。